

労働組合があります

生活で
きる賃金
払え

長時間
労働なく
せ

ACTIVE UNION
- m -
TOKYO



労働組合青年部 大宣伝行動

2017.11.5 SUN 14:00-15:30

場所: JR新宿駅西口

※時間と場所は変更になる可能性もございます。
ご了承ください。



STATEMENT

「こんな働き方変えようぜ」って普通に言っとう

今年3月に東京地評青年協・東京労連青年部の定期大会があり、それぞれの職場の問題について話し合ったのですが、「賃金が低すぎる」「残業・長時間労働がきつい」「そのせいで人が辞めていき負担が大きくなっている」という声が多く上がりました。これまでの大会でも同じようなことを話し合ってきたのですが、今年はそんな声が入りも以上によく、深刻になっている感じました。

2015年まで3年間、「東京ジャック」という街頭宣伝行動を私たちはやってきました。2016年はいろいろな事情からお休みしていましたが、定期大会での声が入りも以上によく、2年ぶりに街頭宣伝行動を再開することを決めました。テーマは「長時間労働なくせ・賃金上げろ・労働組合アピール」です。

電通や国立競技場建設の過労自殺問題やヤマト運輸の人手不足問題など、労働に関する問題がニュースになるようになってきています。このことは働く人たちの状況がいっぱいいっぱいになりすぎて、それがどうやっても隠すことのできない、ということではないのでしょうか。

そんな中、秋の臨時国会で与党側は、高度プロフェッショナル制度、通称「残業代ゼロ制度」を通そうとしています。この制度は「どれだけ働こうが残業代を払わなくていい」とする制度です。最初は「年収1000万円以上・特定の専門職」という条件付きですが、経営者団体や厚労大臣はもっと条件を緩くすることを狙っていて、そのような発言をしています。こんな働く人の時間や生活を軽く見すぎたふざけた法案は絶対に通してはなりません。

「デモや街宣なんかやったらってなんか変わるの」という声もあります。でも、官邸前抗議やデモによって、原発は一時的にせよ国内で動かなくなりました。人種差別などのヘイトスピーチに対するカウンターによって、それを規制する法案ができました。路上で声を上げることは決して無駄ではなく、社会を動かし変えていく原動力になっています。

この秋、上述の「残業代ゼロ制度」に対する抗議行動が、数多くされるとと思いますが、「もっと賃金上げろ」「残業多すぎ、休ませろ」とか、「こんな働き方変えようぜ」って声をもっと普通に言っとうって、可視化していけないと思いません。そんな声が多く大きくなっていけば、私たちの働き方はきっと良くなっていくと思えます。たくさんの人の参加をお待ちしています！

■ 行動内容

- 各組合からの訴え・リレートーク
- 署名集め・チラシ配り
- 投票ボードで働き方に関する街頭アンケート
- 街頭での労働相談
- ・ブラカードや横断幕を持ってもらう、そばでスピーチを聞いているだけでもOKです。
- ・各組合独自の署名やチラシをご持参する場合は、事前に下記の電話番号までご連絡いただくと助かります。

■ 東京地評青年協・東京労連青年部とは

ざっくり言えば、「東京の労働組合の集合体が東京地評・東京労連。その青年部」ということです。なので、産業・職種別とかではなく、東京という地域単位で活動・運動しています。企画などでもいろんな業種から参加者が集まるので、「他業種のこと分かって新鮮」という声もよくあります。今回のような街宣や交流会・学習会も開催しています。

(Twitterやってます [@shibuyajack1116](https://twitter.com/shibuyajack1116))